

年内に成熟する多汁で食味良好な カンキツ新品種「福岡1号」

果樹部

1 背景、目的

本県のカンキツ生産は、早生温州を中心に産地化がなされていますが、気象の影響を受けやすく品質が不安定なことや、価格の低迷が農家所得の減少をもたらしています。早生温州からの更新品目として「天草」、「はるみ」等中晩生カンキツの導入を図ってきましたが、県内主要産地の多くは果実の樹上越冬が困難な気象条件であるため、適応できる品種が限られていました。

そこで、県産カンキツの有利販売を図るために、成熟が早く食味が優れた県独自のブランド品種を育成しました。

2 成果の内容、特徴

- 1) 果肉が軟らかくオレンジの風味を持つ「清見」を母親に、減酸が早く糖度が高い「早香」を父親にした交配組み合わせから育成した品種です(図1)。
- 2) 樹姿は円、樹勢は中位です。枝はやや短く、密生しています。枝梢に棘がありますが、樹齢の進行とともに少なくなります(表1)。
- 3) 果形は扁平形で果梗部に短いネックを生じます。果皮は黄橙色で薄く、剥きやすいものの、浮皮は発生しません。着色は早く、11月下旬には完全着色となります。収穫時期は12月中下旬です。
- 4) 香りは弱いポンカン香があり、果肉は柔らかく多汁です。クエン酸含量の減少が早く、12月中旬に1.0g/100ml以下となります。糖度は12月下旬には11度以上となり、食味は良好です。種子数は5~10個で、「早香」より少なく、食べやすいです。

3 主要なデータなど

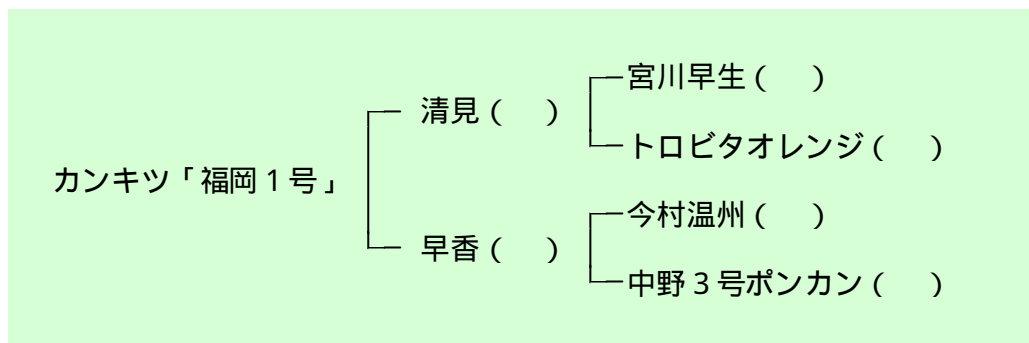


図1 カンキツ「福岡1号」の育成の流れ



写真1 カンキツ「福岡1号」の樹姿 写真2 カンキツ「福岡1号」の果実

表1 カンキツ「福岡1号」の主な特性

形質	福岡1号	早香	清見
樹姿	円	長円	長円
枝の性質	中	竹直	下垂
完全着色期	11月下旬	12月上旬	12月上旬
果形	扁平	扁平	扁球
果皮色	黄橙	橙	橙
果皮の粗滑	中	竹粗	滑
果皮の硬さ	軟	軟	硬
剥皮性	易	易	難
香り	ポンカン	ポンカン	オレンジ
果肉肉質	竹軟	竹硬	極軟